

とこしなえ

新野<sup>にいの</sup>祐子

冬の蝶窓辺に父の死顔照らす

父が逝き中村哲逝き虎落笛<sup>もがりぶえ</sup>

ドライアイス煙る亡骸冬日たゆたう

クリスマス形見のような『クオレ』繰る

読初めは『天、共に在り』共に泣く

\*中村哲著『天、共に在り——アフガニスタン三十年の闘い』

冬銀河横たう水路とこしなえ

あの世より雪降らぬ里憂うかな

いたち驚<sup>す</sup>破<sup>わ</sup>ペットの猫に捕られけり

蛋白源奪い合う冬 鳶鴉

モノクロの夢のあわいの冬菜<sup>は</sup>美し